

ルーピンの里だより

2025
上半期号

ふれあい



○表紙の案内○

初夏の青空と元気なペンギンたちをバックに、楽しいひとときを過ごしたイルカランドでの思い出の1枚です。

「ふれあい号」は日本財団からの寄贈車両です。

目次 Contents

- 理事長あいさつ 新社員紹介 2面
- 従来型上半期の様子 3面
- ユニット型上半期の様子 4面
- デイサービス上半期の様子 5面
- グループホーム上半期の様子 6面
- 居宅介護支援事業所 百歳利用者の紹介 7面
- 栄養課行事料理 新事務長挨拶 編集後記 8面



「スペーシア号」は公益財団法人JKAからの補助車両です。



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

ルーピンの里は日本自転車振興会の補助物件です

私たちを取り巻く介護の環境は、年々変化しています。高齢化が進む中で、介護施設を利用したいという声は増えていますが、その一方で介護を担う人材はまだまだ不足しています。そこで、職員の負担を減らし、より安心して暮らしていただけるように、ICTや介護ロボットといった新しい技術も少しずつ取り入れられています。福寿会では、昨年度グループホームにパラマウントベッド社の「眠りスキャン」を27台全室に設置し今年度は特養全室設置を計画しております。更に、ユニット型においては眠りスキャンEYEも全室に整備し安全面の強化などを充実いたします。入浴設備についても更新する計画であります。これまでのチェアインバス（車椅子に座ったまま入浴出来る装置）についても最新式のものに入れ替えます。これに加え寝たまま入浴できる特殊浴槽を新設します。これまで以上にゆっくりと楽に入浴を楽しんで頂ける事が可能になりご利用者様の「生活の質向上」が図られるものと思われれます。さらに日々の生活を守る工夫も欠かせません。これからも地域やご家族と力を合わせながら、皆さまに笑顔で過ごしていただける施設づくりを目指してまいります。

社会福祉法人福寿会 理事長 福留 利郎

新人職員紹介



ユニット三丁目
桑畑 亜弥さん
尚志館高等学校卒

私が目標にしていることは、「介護資格」を取ることです。理由は、働きながら少しずつ知識を覚えておりますが、介護資格を取り利用者様にさらに満足して頂けるようにしていきたいと考えております。



ユニット二丁目
テイ・ピョーさん
ミャンマー出身

四月からルーピンの里で働いています。平成十三年三月三十日生まれ四人家族で一番上です。頑張つて働いて介護福祉士の資格を取得し、日本で介護の技術を学んでミャンマーのために役立てたいです。



ユニット一丁目
トゥーティンザ・チョーさん
ミャンマー出身

四月からルーピンの里で働いています。平成十年五月二十三日生まれの五人家族で次女です。頑張つて勉強して介護福祉士の資格を取得したいです。ミャンマーに介護施設を作りたいです。

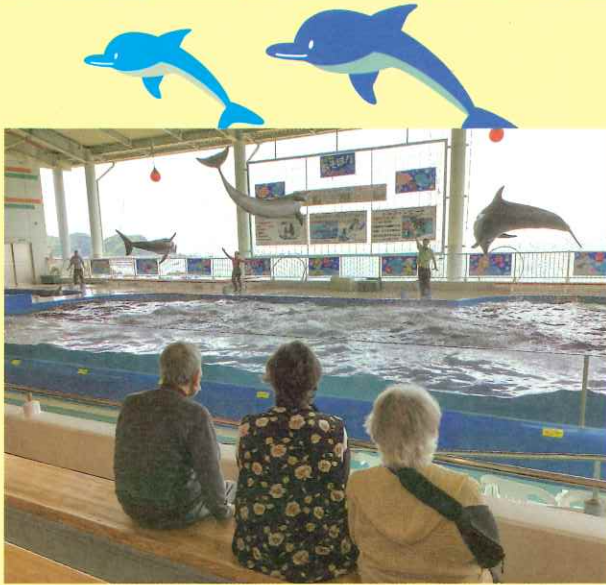


従来型
後藤 瑠斗さん
尚志館高等学校卒

ルーピンの里には就職する前から、三年間施設実習でお世話になり、介護福祉士の資格を取つて、高校を卒業し従来型に所属することになりました。資格を取つて満足するのではなく、介護力をしっかり磨き、利用者様のために頑張ります。

従来型 上半期の様子

イルカランド



五月二十三日と六月五日、イルカランドへお出かけしました。イルカショーでは、迫力満点のジャンプと水しぶきにワクワクしたり、驚いたりと楽しい時間を過ごしました。その後は、ペンギンやクジャク、ポニーなどのかわいい動物を見てまわりました。帰り際には、売店でお土産を買われる利用者様もおられ、短い時間でしたが、とても楽しそうに過ごされていました。

お花見



三月末から五月にかけて毎月花見を行っています。園内にはさくらの木や紫陽花等いろいろな花が咲いているため、花見の時期には利用者様方に好評を得ています。また、五月には柏原海岸近くのルーピンの花を見にドライブへ行かれ園に帰られた際、「楽しかった」や、「毎年楽しみにしていたから良かった」と笑顔が見られています。

桜祭り



毎年、恒例となっている「桜祭り」が今年も盛大に開催されました。園内に特設ステージを準備し、満開の桜の花とステージ上での踊りや歌などを利用者様、御家族ともに楽しんでいただきました。東串良・大崎の町長にも御出席いただき、楽しい春のひとときを過ごしていただきました。利用者の皆様からは「にぎやかで、おもしろかった」との声が聞かれています。

ユニット型 上半期の様子

1丁目

寄り添う時間 ～夫婦での園外散歩～

ある日の午後、利用者ご夫婦お二人で施設周辺をゆっくりと散策されました。お二人とも車椅子をご利用されていましたが、並んで進まれるお姿はとても穏やかで、長年連れ添ってこられた深い絆が感じられました。途中で立ち止まりながら会話を交わされる様子や、お互いを気遣う姿がとても印象的で、心温まる時間となりました。仲睦まじいお二人の様子に、スタッフも自然と笑顔になり、優しいひとときをご一緒させていただきました。



2丁目

七夕に願いを込めて



七月七日は七夕です。一年に一度の織姫様と彦星様が天の川で巡り合い最も輝く日とされています。私たちも願いを込めて七夕飾りを作成しました。職員が立派な笹の木を切ってきてくれたのでみんなで折り紙を折り飾りました。利用者様、職員もそれぞれに願いを込めて短冊を作り、皆様の願い事が叶いますようにお祈りして、可愛く飾ってみました。利用者様のその笑顔に職員一同、癒されました。



3丁目

紫陽花に心を寄せて



梅雨の季節の庭を彩る紫陽花が今年も美しい花を咲かせました。色とりどりの花びらが雨露に濡れて輝く姿は、まるで皆さんの笑顔のようです。紫陽花の花言葉には「一家団欒」や「家族の結びつき」といった意味があります。私たち職員も利用者様が安心して穏やかに過ごせるよう家族のような温かい繋がりを大切にしていきたいと改めて感じています。施設に咲く季節の花々が皆様の日々々に安らぎと喜びをもたらせることを願っております。



スイカ割大会



理事長より「ご利用者の皆様で召し上がって下さい」と、スイカを頂きました。

せっかくのスイカを有効利用できないかとスタッフで考え、急遽スイカ割大会を実施したところ、ご利用者の皆様も目隠しをした途端にスイッチが入り、棒を構えた方に対して「3回周れ、右や左やが、そこじゃが」と大声で声をかけるなど童心にかえって楽しめました。終了後は、全員で美味しく頂きました「理事長、ご馳走様でした」



芋畑の造成



本年度は、法人敷地隣接駐車場の空き地内における一定区画の土地を利用し、ご利用者様の優れた保有能力と活動意欲を活かす目的としてサツマイモの苗の植え付けを行い、作物の成長から収穫までの過程をご利用者様とともにに行い生活面での活性化を図ります。

今回は植え付け前の大事な畑の整備を福寿会における業者会の全面協力を得て始めることが出来ました。「業者会の皆様、ありがとうございました」



春の大運動会



季節的に過ごし易い五月に春の大運動会を開催致しました。

ご利用者様とスタッフ全員が紅白に分かれハチマキを締め、心を一ツに開会式に臨みました。国歌斉唱と優勝旗返還を終え応援合戦を皮切りに競技を開始、合計五種目の競技を通して優勝を目指しました。一週間で五日間開催し今年度の優勝は白組となりました。参加されたご利用者の皆様方も「汗が出たばっ面白^{おもしろ}てかった」と大好評でした。



各グループホーム 上半期の様子

食事作り

今年度より、月に一回、外部提携の食事ではなく、グループホームの職員による手作りの食事を提供しています。普段、残食がある利用者様も、手作りだと「美味しい」と言われて、しっかりと食べられていきます。



グループホーム東串良

今年度の新しい試みで、プラントナーにトマトの種を植えて、ミニトマトの栽培を行っています。利用者様は散歩がてら、成長具合を見に行かれます。現在、実が食べられるほど熟しており、美味しいとつまんだりされています。



トマト栽培



藤下様109歳

七月三十日に百九歳を迎えられ、利用者様とスタッフでお祝いしました。「もうそげんなつとけ」とご本人も驚かれています。これからも可愛い笑顔で私たちを元気づけて、楽しい日々をお過ごし下さい。



グループホーム大崎

しそジュース作りの様子です。しその葉を手慣れた手つきで真剣にちぎられています。ビタミン、ミネラルが豊富で疲労回復効果があるので出来上がったら夏バテ防止に毎日飲んで、この暑い夏を乗り越えましょうね。



しそジュース



グループホームすまいる

六月二十七日鹿屋市にある「ブルーベリー観光農園ワダ」に行ってきました。当日はオープニングイベントで鹿屋市PR特命係長「かのやカンパチロウ」の参加やテレビ局の取材もあり賑やかな日となりました。ブルーベリーの種類も多く、皆様たくさんブルーベリーを採ったり、食べたりと大忙しでした。炎天下の中でしたがご家族の方の協力も頂き体調を崩される方もなく過ごすことが出来ました。今後も外出の機会を増やしていきたいと思えます。



ブルーベリー狩り



居宅介護支援事業所より

今回は、敬老の日もありましたので、当居宅介護支援事業所での利用者様の中から、百歳を迎えた2名の方をご紹介させていただきたいと思います。

- ①好きな食べ物 ②趣味 ③長生きの秘訣



坪山 トシ様

- ①肉
- ②皆が良くしてくれる
話をする事
- ③掃除



川畑 テル子様

- ①刺身（さごし）
- ②踊り、菜園で花作り
- ③刺身を食べること



敬老の日の由来は、1947年に兵庫県多可町で行われた。（年寄りの日）という行事にさかのぼります。この行事は高齢者を敬い地域の知恵を学ぶこと目的として始まりました。1966年には、この日が国民の祝日「敬老の日」として制定され毎年9月の第3月曜日に祝われる様になりました。

鹿児島県の80歳以上の高齢者人口は、2025年には約52万人になると予想されています。また鹿児島県の高齢者人口は日本全国（都道府県別）で24位に位置しています。

鹿児島県の100歳以上の高齢者は、令和7年9月1日時点で、100歳以上となる方は、2091人となっております。



新事務局長の言葉

60代になって気づいた時間の使い方。

若い頃は時間なんて無限にあると思っていた。

忙しさを理由に、後回しにしたことが山ほどある。やりたいことも、会いたい人も、「いつか」そのうちと流してきた。

でも6代になって、ようやく気づく。「いつか」は、なかなか来ないということに。

「今」は、もう二度と戻らないということに。だからこそ、今日という日を大切にしたくなる。会いたい人には、「今」会いに行く。やりたいことは、「今」やる。

60代の「今」こそ、人生でいちばん濃く生きるときなのかもしれない・・・。

このようなことを思っている今日この頃です。

蛭川 俊一

夏祭り縁日風景



七月二十五日夏祭りイベントを行いました。たこ焼き、ポテト、フルーツポンチ、ラムネやアイス、ノンアルコールビールなどを利用者様に提供しました。また、レクリエーションではヨーヨー釣りやわなげ、千本引き、もぐらたたきなどを準備しました。千本引きではお菓子や当たりつきなども用意し、たくさんご利用者が食べ物やレクリエーションでの景品を手を持ち、楽しんでいらっしゃる様子でした。また、来年もできたらいいなと思えました。



【母の日のメニュー】 リクエスト

- 手打ちそば
- 天ぷら
- 混ぜご飯
- サラダ
- ロールケーキ

栄養課より
行事食

編集後記

令和7年度上半期のルーピンの里だより「ふれあい」の発行となります。ご利用者様がレクリエーションやイベントを楽しまれている様子や、日常生活での様子をできる限りお伝えできればと思います。今年度はこのメンバーで一丸となってルーピンの里の情報を発信させて頂きたいと思っております。よろしくお願いたします。

広報委員…長谷川、新田、濱田、前原、西窪、有川、前野、山口